

# 『大川咲也加の文学のすすめ～世界文学編・中』 修正表シート

切り離してお使いください。

## 『大川咲也加の文学のすすめ～世界文学編・中』 修正表

下記のように修正し、お詫び申し上げます。

### ○ 150 ページ 上段 14 行目～下段 2 行目

〔修正前〕

大臣の王允が、色好みであった董卓と呂布の両者を「連環の計」にかけ、女性をめぐって二人を対立させることに成功。



〔修正後〕

大臣の王允が、色好みであった董卓と呂布の両者に美人を仕掛け、仲違いさせて二人を対立させることに成功。

### ○ 174 ページ 「ミニコラム」 いちばん下の箇条書き

〔修正前〕

「連環の計」とは、2つ以上の計略を組み合わせることで敵の動きを鈍らせて撃滅する計略。赤壁の戦いでは、連合軍側にいた龐統が、曹操に船同士を連環のようにつなぎ合わせるよう勧めた計略のことを示すが、本戦のなかで用いた「苦肉の計」などを含めた一連の計略のことも「連環の計」という。



〔修正後〕

「連環の計」とは、主に『三国志演義』の「赤壁の戦い」の場面で、連合軍側にいた龐統が、曹操に船同士を鎖で連環のようにつなぎ合わせるよう勧めた計略をいう。

## 『大川咲也加の文学のすすめ～世界文学編・中』 修正表

下記のように修正し、お詫び申し上げます。

### ○ 150 ページ 上段 14 行目～下段 2 行目

〔修正前〕

大臣の王允が、色好みであった董卓と呂布の両者を「連環の計」にかけ、女性をめぐって二人を対立させることに成功。



〔修正後〕

大臣の王允が、色好みであった董卓と呂布の両者に美人を仕掛け、仲違いさせて二人を対立させることに成功。

### ○ 174 ページ 「ミニコラム」 いちばん下の箇条書き

〔修正前〕

「連環の計」とは、2つ以上の計略を組み合わせることで敵の動きを鈍らせて撃滅する計略。赤壁の戦いでは、連合軍側にいた龐統が、曹操に船同士を連環のようにつなぎ合わせるよう勧めた計略のことを示すが、本戦のなかで用いた「苦肉の計」などを含めた一連の計略のことも「連環の計」という。



〔修正後〕

「連環の計」とは、主に『三国志演義』の「赤壁の戦い」の場面で、連合軍側にいた龐統が、曹操に船同士を鎖で連環のようにつなぎ合わせるよう勧めた計略をいう。